

#### 第 57 号 2025 年 10 月

発行者: NPO 法人 介護の家コスモス男山 〒614-8372 八幡市男山笹谷 4-2 D19-106 TEL: 075-983-2737 FAX: 075-983-2746

e-mail: kosumosuot@gol.com

ホームページ検索用語 ⇒「コスモス男山」

https://kosumosuot.sakura.ne.jp/hp/

#### 対話の相手

猛暑続きの8月下旬ある日の午後、プール帰りの小中学生男子グループが、コスモス男山の花壇前で楽しそうに話している。「人には聞きにくいことも、チャットに聞いたら答えてくれるよ!」「宿題も解決!恥ずかしくないのでチャットに相談する」・・・と。

今や、子どもたちの悩みの相談相手は「チャット」。質問したことに対して、寄り添うような丁寧な回答をしてくれるという話でした。AI は知らないことを調べるツールであり、電脳空間のネットワーク世界は限界がないとは言われていますが・・・。

日本人は対話の概念が希薄で『対人で交流・交渉する、対話の精神が重要では』と、先 日の三中校区の方々との会議で話題になりました。便利な道具が増えてくる世の中ですが、 特に若者にはぜひこの精神を身につけてほしいと思っています。

さて、察し合い文化が根付く日本人社会ですが、対話は苦手でも『おしゃべり』はどうでしょうか?コスモス男山が運営している軽食喫茶『おいでやすコスモス』では、特に女性たちは機械(スマホ)に頼らずとも、隣人・友人たちと楽しそうに会話しておられます。中高年は対人の会話を楽しんでいるようです。



生成 AI の代名詞である ChatGPT の、【Chat】は、【おしゃべり】の意味です。年を経て出会った友人たち、昭和時代を実直に勤勉に生きてこられた昭和ガールズに乾杯!!

理事長 三宅悦子

# コスモス アラカルト

# わかた什保育園の子どもたちが来てくれました!

わかたけ保育園ぞう組のみなさんが、敬老のお祝いにきてくれました。大きな声で歌をうたって、手染めの和紙で作ったプレゼントを手渡ししてくれました。お別れに一人ずつ握手。 いつも楽しい時間をありがとう!

## ~星に願りを~











## きらっと☆4 年目を迎えました☆

健康寿命を延ばそう!を合言葉に始めた「きらっと☆シニア倶楽部」 和気あいあい、みんな大笑い、の時間です♪

#### ☆参加者募集中☆

- ·場所 男山 D18 棟集会所
- ·日時 第2·4火曜日 PM1:30~3:30
- ・連絡先 075-983-2737(コスモス男山)

身体を動かし、キンニク貯筋♥ゲームに夢中で脳力 アップ₹きらっと☆シニア倶楽部は、老化防止に最 適です₹ <ami>

加 者  $\mathcal{O}$ 

あんなに笑う事、めったにない。病気にな ってからもいつも元気をもらって帰って る。気持ちが晴れ晴れ…ホント、楽し い!!皆さんに勧めたい <エリザベス>



今日はちょっと~と迷う日も、みんなの顔をみ た途端! 元気になれます! だって、みんな、ず ーっと 笑っているんだもん!きらっと☆大好 き!スタッフさんありがとう! <hiro>

何よりスタッフの皆さまがあたたか~ い!歌やゲームで幼いころの自分に出 会える時間でもあり、感謝!感謝! <Mieko>

げで

10

年以上普通の生活ができている。

機能型のディサービスとショ

そして我が妻もア

ルツ

ハイ

今は 0

病は仕方が

な

いの

かと諦めていた

で被爆して人命救助

にあたっ

た勇敢な父を、

な介護施設が当時は無かっ

たのだろうか?戦

許可 その

が

ないとできなかっ

た。

でも、

天国に

逝っ

療所の紹介で入院。

2年で車いす生活

と言われて涙が止まらなかった事。

声をふり絞って「ありがとうございます」

その父がアルツハイマー型認知症に

死にかけの何人もの

ように話してい

「水をください

少しずつ水を与えた

原爆の恐ろしさ悲惨さを、

毎

情もあったが、

悲しい結末を迎えてしまっ 母が脳梗塞で寝たきりと

病院の扉は電

動

で、

患者の外出も見舞



島に落とされた。

その後救助にあたっ

た生 父は

私の父が尾道水道で停泊中に、

原子爆弾が広

8月に哀悼 父は元海軍、 原 被

こ家族に、寄稿いただきました

今回も、 シリーズ 利用者さんに日々向き合っておられる 認 知 症 ح

私

**(5**)

こんな介護施設 悲し に預け の 舞を踏 そい たなら・ まないように M Κ

8月原爆の

う事 年後

#### 職員研修

#### 「介護事業所でおこるカスタマーハラスメントについて」

~これからのコスモス男山に向けて~

カスタマーハラスメント(顧客等からの暴行、脅迫、ひどい暴言、不当な要求等の著しい迷惑行為) は、介護事業者にとっていつ起こってもおかしくない問題です。当事業所で過去に起こったカスタマーハラスメントを題材に、問題点を探り今後の対策を考える目的で研修を行いました。

#### 講師:石川亮祐さん

(弁護士 京都あかつき法律事務所 京都大学法科大学院客員教授)

#### 内容:

- ① 「介護現場のカスタマーハラスメントについて」 概論 (講師)
- ② 経緯 (職員)
- ③ 今後に向けて意見交換(グループ) 何が問題だったか、もっとこうすればよかった のでは?等振り返りと今後への具体的提言を 話し合う
- ④ 発表 (グループ)
- ⑤ 講評・まとめ(講師)



#### ~参加者の声~

- ・介護事業所へのカスハラは、無視できない深刻な問題である。ハラスメントを我慢・放置するとエスカレートし、職員が疲弊し離職にも繋がり、事業所の運営も妨げられる。(送迎 田中(一))
- ・穏便におさめようと思ったことが、結果的には職員を守り切れず傷つける形になってしまった。その利用者さんにそのうち理解してもらえるだろうとの甘い考えが事を長引かせてしまったと思う。今回の研修で色々な意見が聞けて良かった。今後も情報共有し、話し合いの場をもっていければ、と思う。(主任 栗山)
- ・今回のカスハラが特殊だったという見方もあるが、国を挙げてのカスハラ対策も始まっていて、結構あちこちで同様 の問題が起こっているようだ。チームワークを大切に、情報の共有・記録を大切にしたいと思いました。(看護 大塚)
- ・皆さんとの情報共有の大切さと、線引きの難しさを感じました。今後、もし同じような件があったら、ご本人・ご家族 の情報共有と色々な状況を考えて皆でシミュレーションをして考えてみるのはどうでしょうか。(介護 浦郷)

利用者さんにも、そして職員にも居心地のいい場所であるように、今後も工夫を重ねていきます!

### ありがとう、よむべえさん

て、巧みな語り口にぐいぐい引きこまれたものです。毎回、利用者さんが興味を持ちそうなお話を選んできてくれンティア「よむよむ」「よむべえ」さん。今月で最後となりました。約8年もの間、毎月読み聞かせで楽しませてくださったボラ

活動日誌

2025

年 6 月

5

10 月



長い間、ありがとうございました!など、いつも利用者さんの立場で工夫してくださいました。コロナ禍では唾液が飛ばないようにわざわざ家で録音して流す

10 月

4

日

職員研修

「人のさいご」

17

日

ر 18

日

サービス評価所内会議

今後の活動予定

,	10 月				9 月					8 月						7 月			2025 年 6 月
	1 日	27 日	16 日	11 日	8日	30 日	28	16 日	6 日	2 日	17 日	14 日	13	13 日	5 日	2 日	21 日	10	1 日
AN EST	コスモスだより第 57 号発行	サービス評価開始	第 3 回理事会	わかたけ保育園来所	第 3 回運営推進会議	八幡市介護・福祉職場就職フェア出展	風呂リフォーム打ち合わせ	職員研修「介護現場でのカスタマーハラスメント」( 18 名)	コスモスだより第 57 号編集打ち合わせ会議	研修「認知症の人の意思決定支援」(2名)	~ 18 日 認知症介護実践者等養成研修( 1 名)	第 2 回運営推進会議	研修「災害とソーシャルワーク」(1名)	研修「認知症カフェ最新の動向」( 1 名)	地域連携の会「あなたの職場はACPが育っていますか」	第 2 層協議体会議 ( 2 名)	「オレンジカフェ」以降毎月第3土曜日開催	「きらっと☆シニア倶楽部」以降毎月第2、4火曜日開催	第 20 回定時総会、コスモスだより第 56 号発行
									_										

## 就職フェアに出展しました!

離職者のほとんどいないコスモス男山で、久しぶりの**求人**です! 共に働くなかま、楽しみに待ってま~す







ご連絡お待ちしております♪

介護支援専門員 正規職員,常勤パート,パート (特非)介護の家 コスモス男山 コスモス男山 介護職 正規職員,常勤パート,パート

打ってみたいと進んで言ってくださる なぎっておられ、質問も多く、何回も にほぼ覚えてくださっています。 **力ばかりでした。そして、あっという間** 職員の皆さんは、とてもやる気がみ このやる気が日頃のケアにも通じて

を決めたりと、いろいろと工夫もしま 時間帯を変えたり、場面ごとに打つ人 ました。今までのものとは違い、打つ かりやすく、をモットーに伝えていき

いるのでは、とうれしく思います。

武

八苦日記』を載せていただいた、 前号で新しい介護ソフト導入『四苦 後日

編 集 後 記

落ち着いて、あせらず、少しずつ、

もう少しわかりやすくしたものに手直

そのマニュアルを持って介護職

その後、自分で作ったマニュアル

員の皆さんに少しずつ教え始めま